

評価者	環境部長	能條 裕子
-----	------	-------

◎ 評価対象分野・施策の方針・目標とすべきまちの姿

総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針	環境汚染の防止
目標とすべきまちの姿	市民の環境保全に対する意識が高く、大気汚染、水質汚濁、騒音等による公害の発生が抑制され、快適なまちづくりが推進されています。環境汚染等の公害が発生した場合に適切な指導、対策等が実施され、地域の環境は良好に保全されています。			

1 市民意識調査結果

(1) 認知度(回答者全体に占める割合)

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	令和元年度(2019年度)	19.0%	平成30年度(2018年度)	16.2%	平成29年度(2017年度)	17.8%
	平成28年度(2016年度)	17.4%	平成27年度(2015年度)	19.3%		

(2) 妥当性

令和元年度(2019年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	0.3%	1.1%	0.2%
ちょうどよい	1.0%	54.6%	1.4%
効果不十分	2.2%	3.5%	10.7%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成30年度(2018年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	0.5%	1.0%	0.3%
ちょうどよい	1.2%	57.5%	1.7%
効果不十分	2.0%	3.5%	11.6%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成29年度(2017年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	0.4%	1.2%	0.0%
ちょうどよい	1.2%	56.4%	1.9%
効果不十分	1.4%	3.9%	11.1%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成28年度(2016年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	0.0%	0.5%	0.0%
ちょうどよい	1.6%	56.5%	1.4%
効果不十分	2.1%	3.7%	12.1%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成27年度(2015年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	0.3%	0.9%	0.0%
ちょうどよい	1.4%	54.6%	1.6%
効果不十分	2.6%	4.1%	9.6%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

(3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答
令和元年度(2019年度)	21.0%	52.2%	1.8%	25.1%
平成30年度(2018年度)	22.5%	55.4%	0.8%	21.3%
平成29年度(2017年度)	21.1%	55.2%	1.4%	22.3%
平成28年度(2016年度)	20.2%	56.0%	2.0%	21.8%
平成27年度(2015年度)	20.3%	53.8%	1.4%	24.5%

2 内部評価

(1) 令和元年度(2019年度)の目標

- ①公共下水道に接続していない、全ての汲み取りし尿の収集運搬により生活環境の保全を図る。(環境-06)
 ②生活環境の保全を図るため、公共下水道に接続していない、全ての汲み取りし尿と浄化槽汚泥一部処理にかかる施設の適正な維持修繕を実施し、安定した下水道放流を行う。(環境-25)
 ③引き続き、公害の発生を防止するため、大気汚染、水質汚濁、騒音、振動等の環境状況を把握、監視し事業所への助言・指導等や市民からの公害等苦情の対応を行い、快適な生活環境の保全につなげる。(環境-13)
 ④害虫等が発生するおそれがある河川、排水路等の防除、駆除及び薬剤配布や相談業務を行い、衛生の維持に必要な体制を整備し、良好な環境の保全を図られる。(環境-14)

(2) 目標とすべきまちの姿と令和元年度(2019年度)の目標との関連性

- ①公共下水道に接続していない、全ての汲み取りし尿の収集運搬により、水質汚濁による公害の発生が抑制され、良好な環境が保全される。(環境-06)
 ②公共下水道に接続していない、全ての汲み取りし尿と浄化槽汚泥を適正に管理された施設で受入れることにより、公害の発生が抑制され、良好な環境が保全される。(環境-25)
 ③大気汚染、水質汚濁、騒音、振動等の環境状況を把握、監視し事業所への助言・指導等や市民からの公害等苦情の対応を行うことにより、公害の発生を防止し、快適な生活環境が保全される。(環境-13)
 ④害虫等が発生するおそれがある河川、排水路等の防除、駆除及び薬剤配布や相談業務を行い、衛生の維持に必要な体制を整備することにより、良好な環境が保全される。(環境-14)

(3) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

整理番号	評価対象事業名 事業名	決算値(千円)		職員数(人)		法定受託 事務	今後の 方向性	
		令和元年度 (2019年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元 年度 (2019 年度)	平成 30年度 (2018年 度)		事業内容	予算規模
環境-06	し尿収集事業	7,661	19,286	0.5	0.5	無	b	C
環境-12	ダイオキシン類削減対策施設整備事業	1,848	2,316	0.2	0.2	無	b	B
環境-13	公害等対策事業	6,438	8,962	2.5	2.5	有	b	B
環境-14	衛生・害虫駆除事業	9,925	12,778	1.5	1.5	無	a	C
環境-25	深沢クリーンセンター管理運営事業	23,247	23,784	3.0	3.0	無	b	B

(4) 主な実施内容

【主な実施内容】

- ①公共下水道の供用が開始された地域の未接続世帯及び未供用地域の世帯等のすべての汲み取りし尿の収集運搬業務を民間事業者へ委託し、生活環境の保全を図った。(環境-06)
 ②し尿放流設備に対し、適正な維持修繕を実施し、安定した下水道放流ができた(環境-25)
 ③定期的な河川水質調査、自動車騒音常時監視調査などの環境調査を行った。(環境-13)
 ③深夜花火巡回警備や公害苦情への対応を行った。(環境-13)
 ④害虫駆除について市民からの相談を受ける他、ユスリカ駆除の薬剤散布やねずみ駆除作業を行った。(環境-14)
 ④害虫等が発生する恐れがある河川、排水経路の防除、駆除を行った。(環境-14)
 ④スズメバチの巣の駆除について、入札により業務委託を行った。さらに受益者負担金額の妥当性等、迅速な駆除を考慮し、補助金制度への移行を検討し、令和2年度から実施することとした。(環境-14)

【実施できなかった事業とその理由等】

(5) 令和元年度(2019年度)の取組の評価

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	■ 適切 □ 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	■ 適切 □ 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	■ 適切 □ 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	■ 適切 □ 要改善

<上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等>

①公共下水道に接続していない、全ての汲み取りし尿の収集運搬により生活環境の保全を図った。(環境-06)

②公共下水道に接続していない、全ての汲み取りし尿及び浄化槽汚泥の一部処理に係る施設の運転及び維持管理を行い、処理設備については、適正な維持修繕を実施し、安定した下水道放流ができた。(環境-25)

③環境汚染等の公害発生防止のため、市民からの苦情等に対して迅速に対応することができた。また、環境調査やその他の委託事業についても適切な事務の執行を行うことができた。(環境-13)

④害虫の駆除については、全ての市民が対象であるが、利用者は限定的である。事業の合理性や費用削減、他市の状況を踏まえ、受益者負担金額の妥当性から補助金制度への切り替えたが、さらに補助制度の在り方についてを検討していく必要がある。(環境-14)

3 主な事業における指標(目標ごとに1つ設定)

整理番号	環境-13	事業名	公害等対策事業							
指標の内容	公害苦情処理率(苦情件数に対して解決した割合)					単位	%	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
公害苦情処理の実績と、その解決件数を明確にすることにより事業の効果を測るため	目標値	100	100	100	100	100	100			
	実績値	24/40(件)	20/40(件)	44/56(件)	26/30(件)	41/53(件)	29/47(件)			
	達成率	60.0%	50.0%	78.6%	86.7%	77.4%	61.7%			
整理番号	環境-14	事業名	衛生・害虫駆除事業							
指標の内容	スズメバチの巣の駆除について相談を受け、駆除した件数					単位	%	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
スズメバチの巣の発生実態を把握するため	目標値	800	800	600	600	620	620			
	実績値	1,011	403	359	557	593	441			
	達成率	126.4%	50.4%	59.8%	92.8%	95.6%	71.1%			
整理番号	環境-25	事業名	深沢クリーンセンター管理運営事業							
指標の内容	各種規制基準の遵守					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
生活環境の保全及び公衆衛生を図るため	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	実績値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%			